

学校施設等の整備について

1. 目的
2. これまでの重点事業
3. 施設整備に向けた課題
4. 課題別の対応方針等

1. 目的

本市の未来を担う子供たちが集い、いきいきと学び、生活する場である学校施設の安心安全で良質な教育環境を確保するための施設整備を推進する。

2. これまでの重点事業

(1) 耐震化事業

① 構造部

ア 耐震化の措置が必要となる建物

昭和56年以前に竣工した建物のうち、

(非木造) 2階建て以上又は200㎡を超えるもの

(木造) 3階建て以上又は500㎡を超えるもの

で、耐震診断の結果、I s値が0.7未満の建物

イ 実施期間：平成15年度～平成28年度（直接耐震化に係る事業は平成27年度に完了）

ウ 総事業費：71億7千6百万円

（財源の一部に文部科学省『学校施設環境改善交付金』『合併特例債』を充当）

- エ 工事内容：耐震ブレースや耐震壁等の設置による補強工事
 (必要に応じて外壁や防水改修、トイレの洋式化も可能な限り同時施工)

オ 実施棟数等一覧

H28. 3. 31 現在

	棟 数	耐震化対象棟数	耐震化実施棟数
小学校	105棟	78棟	53棟
中学校	55棟	26棟	23棟
幼稚園	8棟	8棟	2棟
合 計	168棟	112棟	78棟

※耐震化対象棟数（112棟）と耐震化実施棟数（78棟）の差については、耐震診断の結果、Is値が「0.7以上」の施設又は計画期間中に休校、廃校、廃園となった施設数である。

②非構造部（屋体の吊り天井等）

ア 耐震化の措置が必要な設備等

- ・吊り天井、バスケットゴール、照明等

イ 実施期間：平成28年度～平成30年度

ウ 総事業費：約5億4千6百万円（上記期間中に実施する6棟分）

（財源の一部に「文部科学省 学校施設環境改善交付金」を充当予定）

エ 工事内容：吊天井の撤去の他、必要に応じてバスケットゴールや照明設備の更新
又は補強、雨漏りや床面等の改修措置等

オ 実施棟数等

	棟 数	耐震化対象棟数	耐震化実施棟数
小学校	28棟	15棟	15棟
中学校	16棟	3棟	3棟
合 計	44棟	18棟	18棟

※小学校の耐震化実施棟数「15棟」のうち、9棟は「構造部耐震化工事」に併せて実施

※中学校の耐震化実施棟数3棟は、平成26年度に対応済み

(2) 中学校空調設備整備事業

①実施期間：平成28年度から平成31年度

②総事業費：約6億9千万円（財源の一部に、文部科学省『学校施設環境改善交付金』、
『子ども未来夢基金』を充当予定）

③整備計画

年 度	校数(教室数)	学 校 名
平成30年度	5校(101教室)	太華中 岐陽中 周陽中 富田中 熊毛中
平成31年度	9校(74教室)	鼓南中 住吉中 菊川中 桜田中 須々万中 秋月中 福川中 和田中 鹿野中

(3) 老朽化対応等改修事業（過去3カ年の事業実績）

①小学校

年 度	工 事 名 等	工 事 費
平成28年度 (決算額)	周陽小学校教室棟改築関連工事	107,307千円
	八代小学校渡り廊下整備関連工事	76,662千円
	徳山小学校管理教室棟トイレ改修関連工事	59,282千円
	沼城小学校管理教室棟外壁改修工事	36,415千円
	小 計	279,666千円
平成29年度 (決算見込額)	富田東小学校普通教室棟トイレ改修工事	16,191千円
	榑浜小学校管理特別教室棟改修関連工事	67,220千円
	今宿小学校管理教室棟外壁改修工事（1期）	50,382千円
	小 計	133,793千円
平成30年度 (予算額)	久米小学校校舎増築事業関連工事	29,763千円
	菊川小学校教室棟トイレ改修関連工事	91,078千円
	福川南小学校管理教室棟トイレ改修関連工事	58,977千円
	岐山小学校教室棟トイレ改修工事	45,262千円
	今宿小学校管理教室棟外壁改修工事（2期）	36,310千円
	小 計	261,390千円
合 計		674,849千円

②中学校

年 度	工 事 名 等	工 事 費
平成28年度 (決算額)	住吉中学校特別教室棟改修関連工事	162,524千円
	菊川中学校テニスコート整備工事	16,925千円
	住吉中学校管理教室棟屋根防水改修工事	10,643千円
	小 計	190,092千円
平成29年度 (決算見込額)	周陽中学校普通教室棟トイレ改修関連工事	48,293千円
	周陽中学校管理特別教室棟屋根防水改修工事	20,228千円
	小 計	68,521千円
平成30年度 (予算額)	周陽中学校管理特別教室棟屋根防水改修工事	18,458千円
	周陽中学校プール配管改修工事	3,137千円
	熊毛中学校水道管接続工事	18,663千円
	小 計	40,258千円
合 計		298,871千円

③幼稚園

年 度	工 事 名 等	工 事 費
平成28年度 (決算額)	須々万幼稚園防水改修工事	9, 219千円
	小 計	9, 219千円
平成29年度 (決算見込額)	旧夜市幼稚園解体工事	19, 837千円
	旧周栄幼稚園解体工事	14, 364千円
	小 計	34, 201千円
平成30年度 (予算額)	—	—
	小 計	—
合 計		43, 420千円

3. 施設改修に向けた課題

- (1) 大阪北部での地震に起因したブロック塀倒壊による事故を受けての早急な対応
- (2) 更新等の時期を検討すべき施設数の増加
- (3) 夏時期における熱中症予防に向けた対策

4. 課題別の対応方針等

課題 1 大阪北部での地震に起因したブロック塀倒壊による事故を受けての早急な対応

(1) 小・中学校及び幼稚園におけるブロック塀に係る緊急点検結果

区分	校(園)数	左記の内、ブロック塀がある校(園)数	ブロック塀箇所数	緊急度 1 (箇所数)	緊急度 2 (箇所数)	緊急度 3 (箇所数)	経過観察
小学校	27	22	65	17	20	24	4
中学校	14	8	12	3	2	6	1
幼稚園	7	4	4	0	1	2	1
合計	48	34	81	20	23	32	6

【緊急度の判断基準】

緊急度 1	「傾き」や「ぐらつき」が認められ、危険度が高いもの。
緊急度 2	部分的にクラックや破損等がみられるが、直ちに措置を講じる必要性が認められないもの。
緊急度 3	目立った不具合はなく安全性が確保されているものの、現行の法令等の基準を満たしていないもの。

(2) 整備計画 (案)

実施時期	小学校		中学校		幼稚園		合 計	
	学校数	箇所数	学校数	箇所数	園数	箇所数	学校(園)数	箇所数
平成30年度	9	17	1	3	1	1	11	21
平成31年度以降	24	44	7	8	2	2	33	54

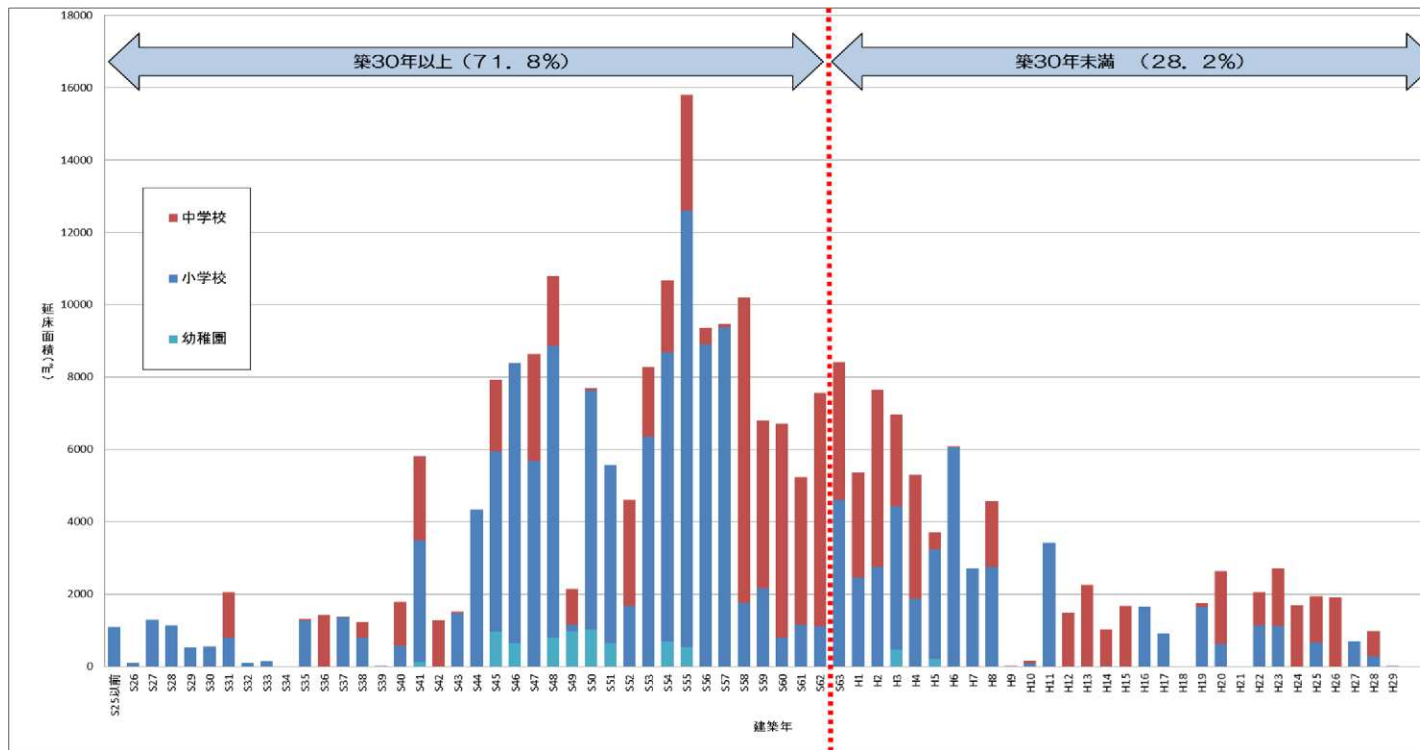
※平成31年度以降については、再度現場確認をしたうえで優先順位を付すとともに、必要に応じて改修等の対応を進める。

課題2 更新等の時期を検討すべき学校等施設数の増加

学校施設は、未来を担う子どもたちが集い、いきいきと学ぶ場であるとともに、災害時には避難所としての役割を果たす重要な施設であることから、築30年を経過し更新時期を迎えている施設の老朽化対策は先送りできない喫緊の課題である。

(1) 学校等施設の状況

【学校及び幼稚園 建築年別延床面積状況】(周南市公共施設再配置計画データを基に調整)



(2) 将来の施設管理の方向性

「対症療法型維持管理」から「予防保全型維持管理」への転換
⇒ 長寿命化改修に転換しても多額の経費を要する。

① これからの施設の維持管理

ア 中長期的な維持管理等に係るトータルコストの削減

イ 公共施設の複合化・共用化

ウ 施設の維持管理の効率化

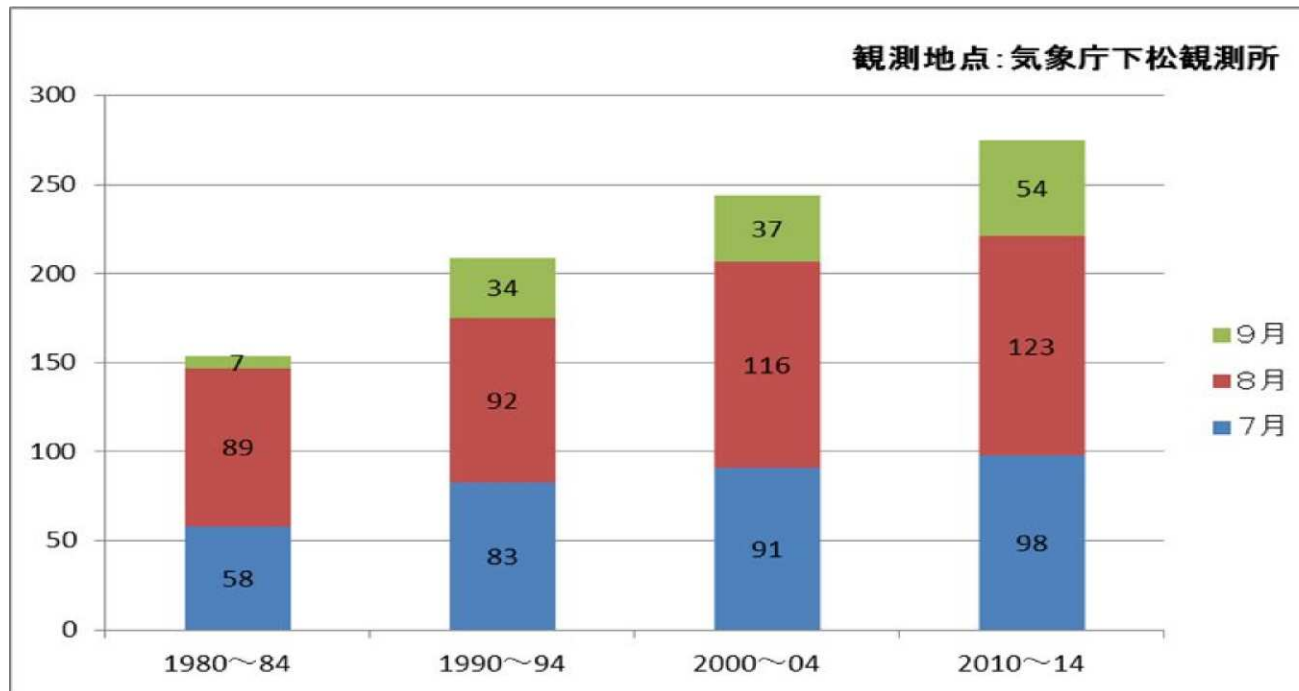
これらを踏まえ、

本市独自の「学校施設の長寿命化計画」を策定するとともに、国庫支出金を活用するなど限られた財源を有効活用し、着実に推進する。

課題3 夏季における熱中症予防に向けた対策

(1) 夏季における真夏日の日数の推移（1980年～2014年）

7月から9月の真夏日（最高気温30℃以上）の日数（5年間計）



(2) 学校環境衛生基準の一部改正

「教室等の環境に係る学校環境衛生基準」のうち、「温度」について、これまでの「10℃以上、30℃以下が望ましい。」から「17℃以上、28℃以下であることが望ましい。」に改正された。
(平成30年文部科学省告示第60号 平成30年4月1日施行)

(3) 今後の方向性について

①当面の対策

- ・ 中学校普通教室への空調設備の整備
- ・ ミストシャワー（82台）及び業務用扇風機（235台）の緊急配備

②今後の方向性

地球規模の温暖化など環境の変化に対応するため、厳しい財政状況下にあっても、体力面で劣るとされている小学生への対応について、現状の対応に加え、新たな措置について検討を深めている。